

苫小牧市第4次環境基本計画

～第1期ゼロカーボン推進計画～



本編はこちら>>>

令和5年3月
苫小牧市



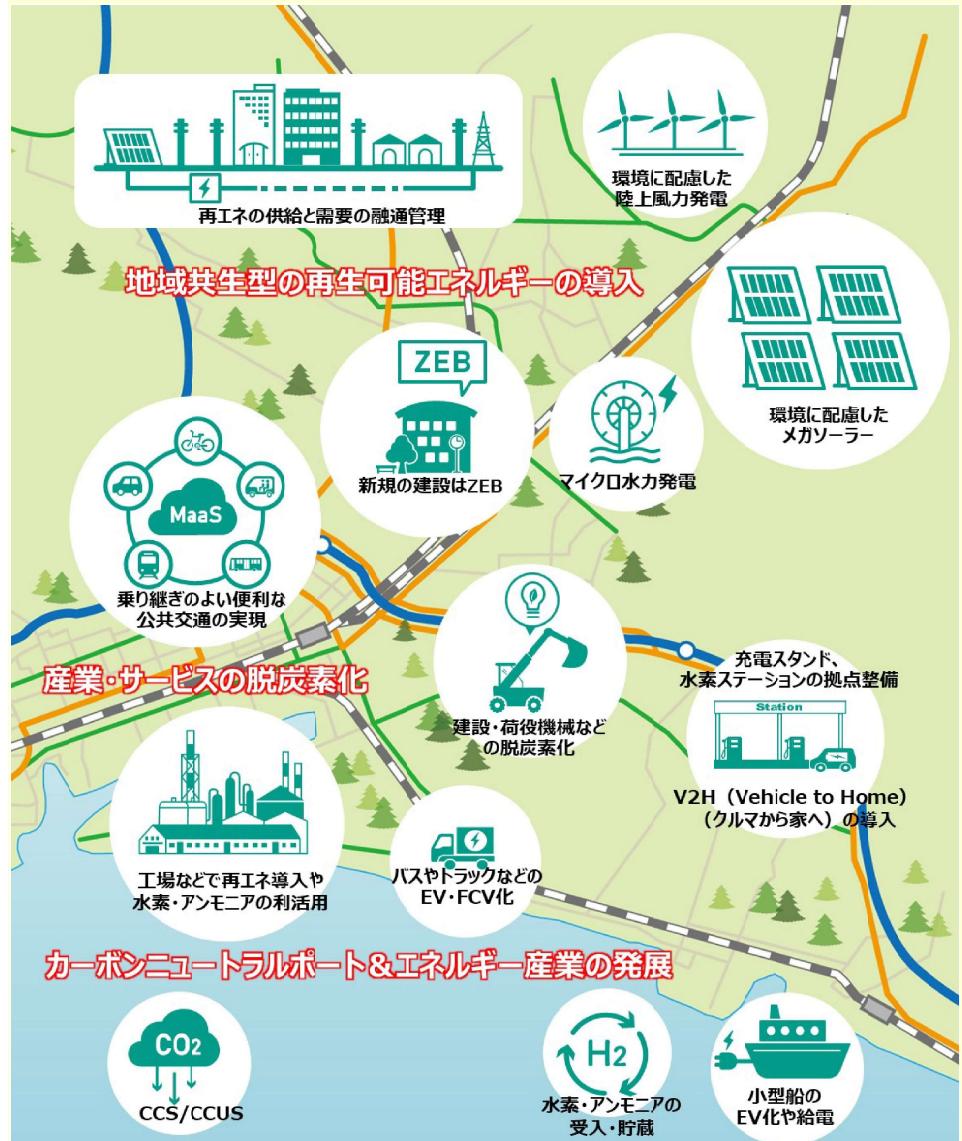
地球を思い、人と自然が調和し、

省エネルギー対策のほか、再生可能エネルギーのポテンシャルを最大限活用して、ゼロカーボン



次世代につなぐ縁あふれる とまこまい

に向けた取組を進め、2050年にCO₂排出量実質ゼロを目指します。



私たちが今日から気軽に始められる



エコ活の初めの一歩は
見える化から！
＼エコワット無料貸出中！／
0144-57-8806（環境保全課まで）



マイバッグで
プラスチックごみを減らそう！
マイバッグを習慣化して
ワンウェイ（使い捨て）プラスチックを削減



みんなで一緒に&地産地消の
食事でエコ&健康に！
温め直しや食材の輸送に
必要なエネルギーが減らされます

エコアクションコラム

ゴミ問題を考える！

ごみの分別を
面倒くさがらないで！
まずは減らす工夫を、出てしまったごみは
資源として使えるものをきちんと分別
することで資源循環に貢献！

エコアクションコラム

もうやつて？／
市民
が今すぐできる
エコ活動を紹介

3きり運動 & 食口ス削減 で生ごみを減らそう！

食材を使いきり＆料理を食べきり
&捨てる時は水をきり
食口スと生ごみを削減！

節電・節暖房でお得に♪

例えば、冷蔵庫の設定温度を
「強」から「中」にすると
年間1,700円節約
(出典) 省エネポータルサイト

家庭でできるエコ

意外と効果大？
節水で脱炭素！
例えば、シャワーの水を流す時間を
1分短くすると年間3,200円節約
(出典) 省エネポータルサイト

無理のないエコドライブで ガソリン代を節約

ふんわりアクセル、車間距離をとって加速・
減速の少ない運転、エンジンブレーキを使う
などのちょっとした心がけで燃費を改善

ゼロカーボンの取組はたくさんあります



自転車・徒歩・バス通勤で
エコ&健康に！

環境にいいだけでなく、健康面にも
効果大！会社でも推奨してみては？



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsは新時代の生存戦略
環境・社会課題への配慮は
企業として選ばれるためにも重要！

＼SDGs無料相談・診断／
中小機構北海道本部 SDGsで検索

エコアクションコラム

経営にもメリット／
事業者
が今すぐできる
エコ活動を紹介

市内企業の
エコ取り組み
を学ぼう！

企業のエコな取組をPR

オンライン上で市内企業のエコな取組を
学べる動画をYouTubeで配信中！

＼とまエコ企業に関する問合せ／
0144-57-8806（環境保全課まで）

え？！光熱費削減（省エネ）は経費削減に直結します

- ✓ 削減した分の利益を設備投資や人材投資に回すことで業務を効率化＆生産性を向上
- ✓ 省エネ対策に力を注ぐことで投資家や消費者の注目を集めることができます

○カーボンニュートラルのオンライン相談窓口（中小機構）
中小企業・小規模事業者の方々を対象に無料で何度でも相談できます
(カーボンニュートラル 中小機構 検索)

○エコアクション21（一般財団法人 持続性推進機構）
環境省が策定した日本独自の環境マネジメントシステムで、中小企業が
取り組みやすく設定されています（エコアクション21で検索）

○ゼロ北ハンドブック（北海道地方環境事務所）
北海道内のゼロカーボン関連の補助施策の要件などがまとっています（ゼロ北ハンドブックで検索）

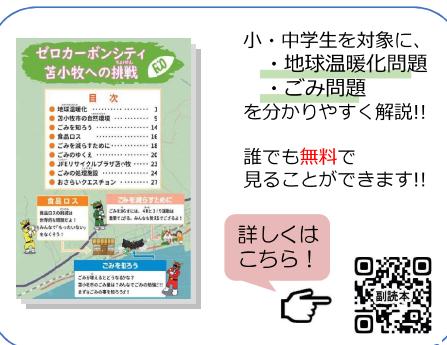
まずは
エネルギーの
見える化から
始めませんか？

~苫小牧市からのお知らせ~

ゼロカーボンハウス促進補助金（ご家庭用）



環境教育の副読本



とまエコノート（環境家計簿）



実践！おうちで省エネ

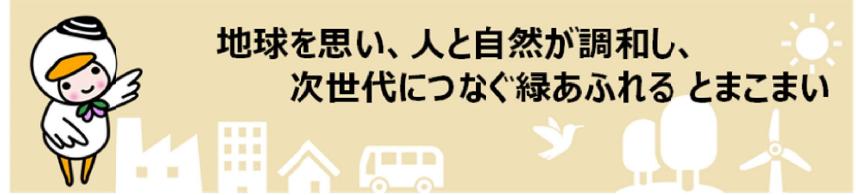


ゼロカーボン × ゼロごみ大作戦！！



私たちのアクションプラン

目指すべき環境



計画の期間

 令和5年度（2023年度）から令和12年度（2030年度）までの8年間

計画と「ゼロカーボン」の関係

地球温暖化対策として、CO₂の実質排出ゼロ（ゼロカーボン）の実現が求められるなか、本市は令和3年（2021年）に「ゼロカーボンシティ」へ挑戦することを宣言しました。今後、本市がゼロカーボンを推進するための方向性や施策を取りまとめ、苫小牧市第4次環境基本計画～第1期ゼロカーボン推進計画～を策定しました。

4つの基本目標



基本目標 1

広げよう！ ゼロカーボンとみんなの暮らし



私たちの身近なところから、2050年にCO₂の排出を実質ゼロにすることを目指す「ゼロカーボン」な暮らしを広げます

実現しよう！ ゼロカーボン産業都市

基本目標 2



■ 基本目標の成果指標

指標	基準年度	現状値（2019年度）	目標値（2030年度）
CO ₂ 排出量 (家庭部門)	平成25年度（2013年度） 498,955 t-CO₂/年	12.6% 削減 (平成25年度(2013年度)比)	66% 削減 (平成25年度(2013年度)比)
CO ₂ 排出量 (業務部門)	平成25年度（2013年度） 393,835 t-CO₂/年	24.6% 削減 (平成25年度(2013年度)比)	51% 削減 (平成25年度(2013年度)比)

■ 関連するSDG s のゴール



■ 現状と課題

- 本市の民生部門（家庭・業務部門）のエネルギー消費量は、全体の12%を占めています。
- 家庭では、暖房エネルギーを多く消費しています。そのため、断熱性能の向上が重要です。
- 事業所やお店では、電気を多く消費しているため、省エネルギー対策が重要です。

■ 基本施策（アクション）

①エネルギーを節約しよう！

節電・節エネルギー・節水・エコドライブなど身近な取組がたくさんあります。

②CO₂の少ない製品・サービスを選ぼう！

環境性能の高いものや、環境配慮マークの付いたもの、地元で作られたものを選びます。

③ゼロカーボンな住宅・オフィスをつくろう！

断熱性・機密性の向上は、経済面・健康面でもいいことだらけ！

④ゼロカーボンなまちをつくろう！

自転車や公共交通機関など自動車以外の手段を積極的に選びます。

⑤環境対策の大切さを知ろう！

学びを通して環境対策をより身近なものとして意識することが大切です。



基本目標 2

ものづくり産業をはじめ多様な産業が集積する苫小牧だからこそ、産業全体で「ゼロカーボン」を目指して、環境と経済の好循環を実現します

■ 基本目標の成果指標

指標	基準年度	現状値（2019年度）	目標値（2030年度）
CO ₂ 排出量 (産業部門)	平成25年度（2013年度） 3,603,437 t-CO₂/年	9.3% 削減 (平成25年度(2013年度)比)	38% 削減 (平成25年度(2013年度)比) (目標を定めている企業は自社目標)
CO ₂ 排出量 (運輸部門)	平成25年度（2013年度） 571,011 t-CO₂/年	1.6% 削減 (平成25年度(2013年度)比)	35% 削減 (平成25年度(2013年度)比)

■ 関連するSDG s のゴール



■ 現状と課題

- 地域の産官学が一体となった「苫小牧CCUS・ゼロカーボン推進協議会」が組織され、ゼロカーボンシティ実現に向けた活動が行われています。
- 製造業等の産業部門と自動車等の運輸部門を合わせたエネルギー消費量は、市全体の88%を占めています。
- 再生可能エネルギーの最大限の導入及び電力の地産地消に努めるとともに、地元産業の振興につなげることが求められます。

■ 基本施策（アクション）

①エネルギーの地産地消を進めよう！

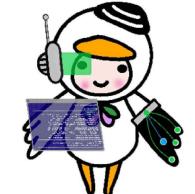
エネルギーの地産地消とともに、地域の産業振興にもつなげます。

②産業全体で取組を拡大しよう！

対策を行う企業への支援や、企業との情報交換を積極的に行います。

③新技術に取り組む産業の輪を広げよう！

ゼロカーボンと産業振興の両立を目指し取組を進めます。



基本目標 3



目指そう！ 資源が循環する053のまち

ゼロごみ

廃棄物の適正処理、資源循環型社会の実現に向けて
4Rの推進に取り組みます

守ろう！ 豊かな自然とみんなの未来

苦小牧は自然を身近に感じられる緑に囲まれたまちです。
未来にこの素晴らしい環境を引き継ぐため、環境保全に取り組みます！

基本目標 4



■ 基本目標の成果指標

指標	基準年度	現状値	目標値（2030年度）
1人1日当たりの家庭ごみの排出量	平成25年度（2013年度）	令和3年度（2021年度） 564g	520g
リサイクル率	平成25年度（2013年度）	令和3年度（2021年度） 25.5%	33.0%
CO ₂ 排出量 (廃棄物部門)	平成25年度（2013年度） 19,109 t-CO₂/年	令和元年度（2019年度） 22.8% 削減 (平成25年度(2013年度)比)	25% 削減 (平成25年度(2013年度)比)

■ 関連するSDGsのゴール



■ 現状と課題

- 本市は、「053（ゼロごみ）のまち とまこまい」を目指して、リユース（もらわない）・リデュース（出さない）・リユース（再利用）・リサイクル（再生利用）の「4R」を推進しています。
- 世界的な課題である地球温暖化対策のほか、SDGsや海洋プラスチックごみ問題等への取組も重要な課題となっています。

■ 基本施策（アクション）

①ごみを減量しよう！

マイバック、マイボトルの活用、詰め替え商品の購入や、モノを使い切るなどの取組、生ごみの減量対策を推進します。



②リサイクルに取り組もう！

広報誌やごみ分別アプリ、SNSなどを活用して様々なリサイクル情報を発信するほか、集団回収や拠点回収を推進します。

③きれいなまちを目指そう！

ポイ捨て防止や不法投棄対策の実施、地域の大掃除活動を行うなど、まちの環境美化に取り組みます。

■ 基本目標の成果指標

指標	現状値（2021年度）	目標値（2030年度）
「豊かな自然環境の保全に努め、自然保護の意識を高めること」への市民満足度	85.5%	上昇
「公園、緑地、広場、並木道など身近に緑とふれあえること」への市民満足度	84.7%	上昇
「大気汚染、水質汚染、騒音等、公害を防ぐ対策をとること」への市民満足度	81.5%	上昇

■ 関連するSDGsのゴール



■ 現状と課題

- 本市は、まちのシンボルである樽前山や、野鳥の楽園であるラムサール条約登録湿地のウトナイ湖や勇払原野などの豊かな自然に囲まれています。
- 大気、水質、騒音などの環境測定結果では、全ての測定地点で概ね環境基準が達成されていますが、市民アンケート調査結果から、「空気の臭い」についてより一層の環境改善が必要です。

■ 基本施策（アクション）

①苦小牧の多様な自然環境を守ろう！

多様で豊かな自然環境を守り、自然とのふれあうきっかけを作ります。



②まちの緑を守ろう！

森林環境を整備・保全するとともに、まちの緑化を進めます。

③公害を未然に防ごう！

モニタリングや公害防止設備の導入支援で生活環境を快適に保ちます。

④気候の変化に備えよう！

災害対策をはじめ、熱中症や感染症など健康面での対策などに取り組みます。



脱炭素社会に向けて

省エネルギー対策のほか、再生可能エネルギーのポテンシャルを最大限活用して、ゼロカーボンに向けた取組を進め、2050年にCO₂排出量実質ゼロを目指します。

2050年の脱炭素社会に向けた目標

苫小牧市地球温暖化対策地域推進計画で定めるCO₂総量削減目標は、国の地球温暖化対策計画や北海道地球温暖化対策推進計画などを踏まえてCO₂排出部門別に設定します。



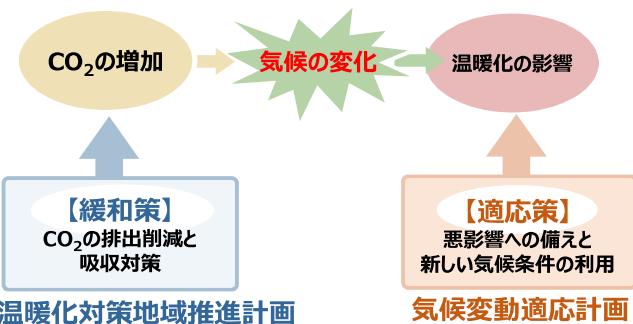
分類	2013年度（基準年度）	2030年度（目標年度）
産業部門	3,603,437 t-CO ₂ /年	企業目標または▲38%
業務部門	393,835 t-CO ₂ /年	▲51%
家庭部門	498,955 t-CO ₂ /年	▲66%
運輸部門	571,011 t-CO ₂ /年	▲35%
廃棄物部門	19,109 t-CO ₂ /年	▲25%
合計	5,086,348 t-CO ₂ /年	▲48%

～緩和策と適応策～

地球温暖化対策には、人間の活動に由来するCO₂の排出量を削減するための取組「緩和策」と、既に現れている影響や今後避けることのできない影響に対応していくための取組「適応策」の両方が必要とされています。

本市の気候変動に対する緩和策を示す「苫小牧市地球温暖化対策地域推進計画」（区域施策編）と、適応策を示す「苫小牧市気候変動適応計画」を、苫小牧市第4次環境基本計画の個別計画として位置付けます。

緩和策と適応策



2030年の目標達成に向けた緩和策

- CO₂の排出量の削減につながるよう効果的な地球温暖化対策を市、事業者、市民が一体となって積極的に進めます。
 - 再生可能エネルギー等の最大限の導入・活用
 - 省エネルギー対策、電化シフトなどによる再生可能エネルギーの導入拡大
 - CO₂回収・有効利用・貯留（CCUS）の社会実装に向けた取組
 - 資源循環によるごみの削減 など

分野・項目ごとの影響評価と適応策

- 気候変動がもたらす影響に対応するため、自然環境、農林水産業、市民生活など広い範囲にわたって対策が必要です。
 - 農林水産業における対策
 - 水質の監視や水源の渇水対策
 - エゾシカ森林被害防止対策、希少野生動植物種保護対策、外来種対策の実施
 - 豪雨、海面上昇による高潮・波浪、土砂災害への対策
 - 熱中症や感染症対策 など

